

(1) 単元名 「わり算を考えよう」

(2) 本単元についてのつまずき

◇出題のねらい「問題場面に応じた商や余りの処理ができる」

◇出題例

ケーキが23こあります。1箱に4このケーキを入れていきます。全部のケーキを入れるには、箱は何箱あればよいでしょうか。

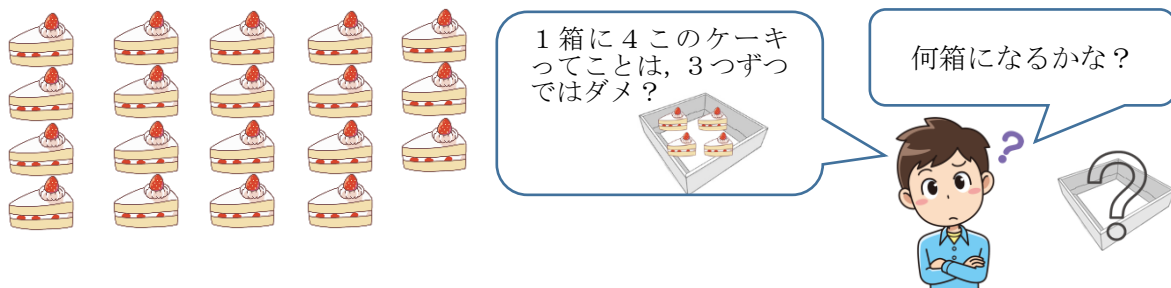
◇多い誤答 ・5箱 ・5あまり3箱 ・5.3箱 ・8箱

◇つまずき仮説

- ①あまりの意味を理解していない。
- ②問題のイメージが持てていなく、あまりの処理ができない。

(3) 実態解消に向けた指導例

①素材提示場面でイラスト用いて、豊かに場面想像ができるように支援する。



②具体物の操作や図でかくなどして、余りを明らかにする。あまりの処理について視覚的にわかるようにして、考えるべきことを焦点化して支援する。

③立式の際には、式に単位をつけて、あまりが何を表しているのか、式のうえでもわかるように支援する。

$$\begin{array}{ccccccc}
 23 & \div & 4 & = & 5 & \text{あまり} & 3 \\
 \text{個} & & \text{個} & & \text{箱} & & \text{個}
 \end{array}$$

(4) ICT との関連

- ・素材場面と同じような様子を iPad やタブレットで撮影し、問題づくりを行う。
- ・アプリを利用して写真に囲み線を記入させるなどして、授業と同じ流れで思考できるようにさせる。